

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月22日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者
住 所 栃木県小山市犬塚1丁目480番地
氏 名 株式会社レゾナック 小山事業所
所 長 佐藤 聡之
電話番号 0285-30-1226

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社レゾナック 小山事業所
事業場の所在地	栃木県小山市犬塚1丁目480番地
計画期間	令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	非鉄金属・同合金圧延業（抽伸、押出し含む） [2439]
②事業の規模	製造品出荷額 15,800百万円/年（令和4年度）
③従業員数	348人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

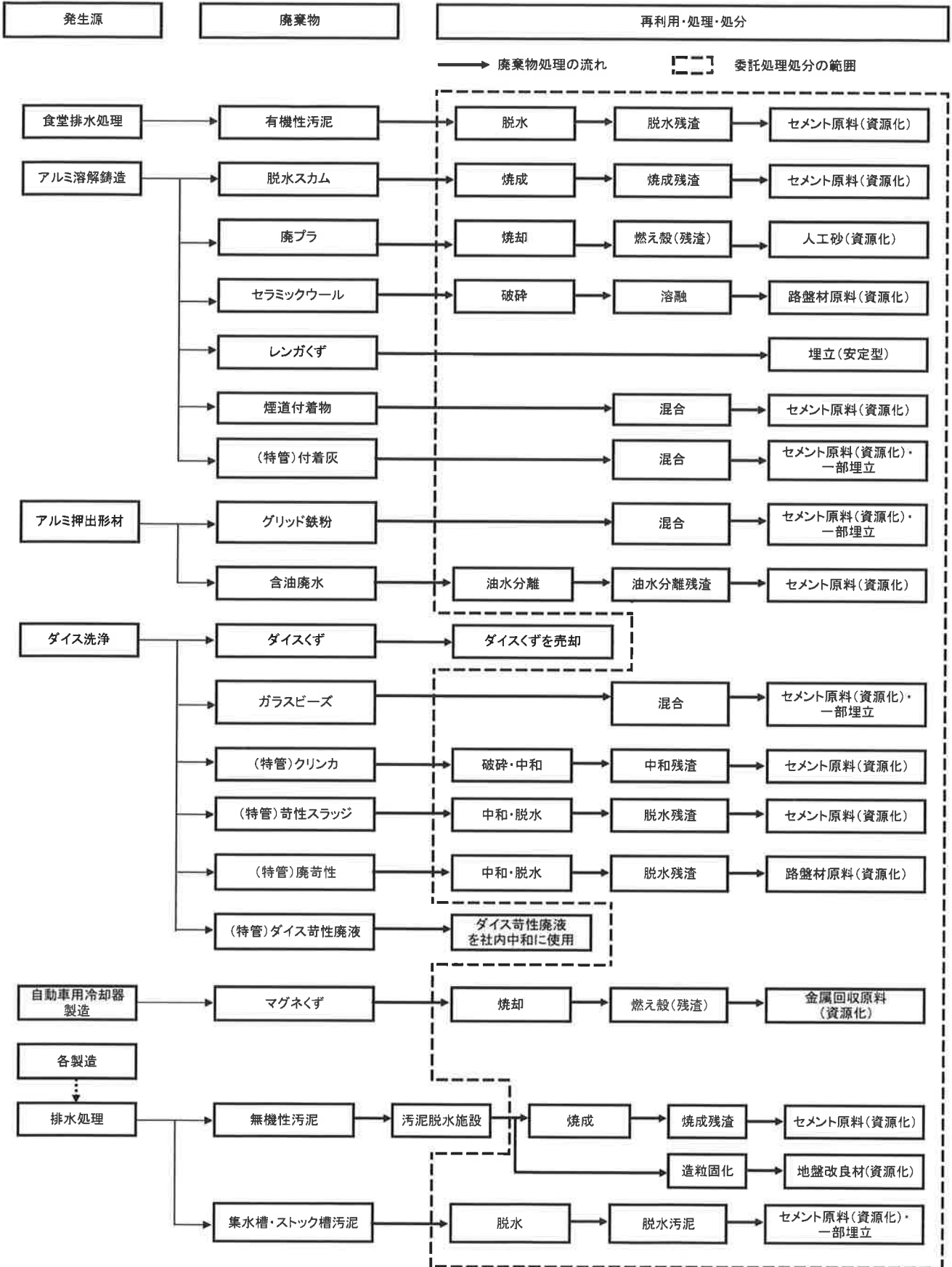
(第4面)

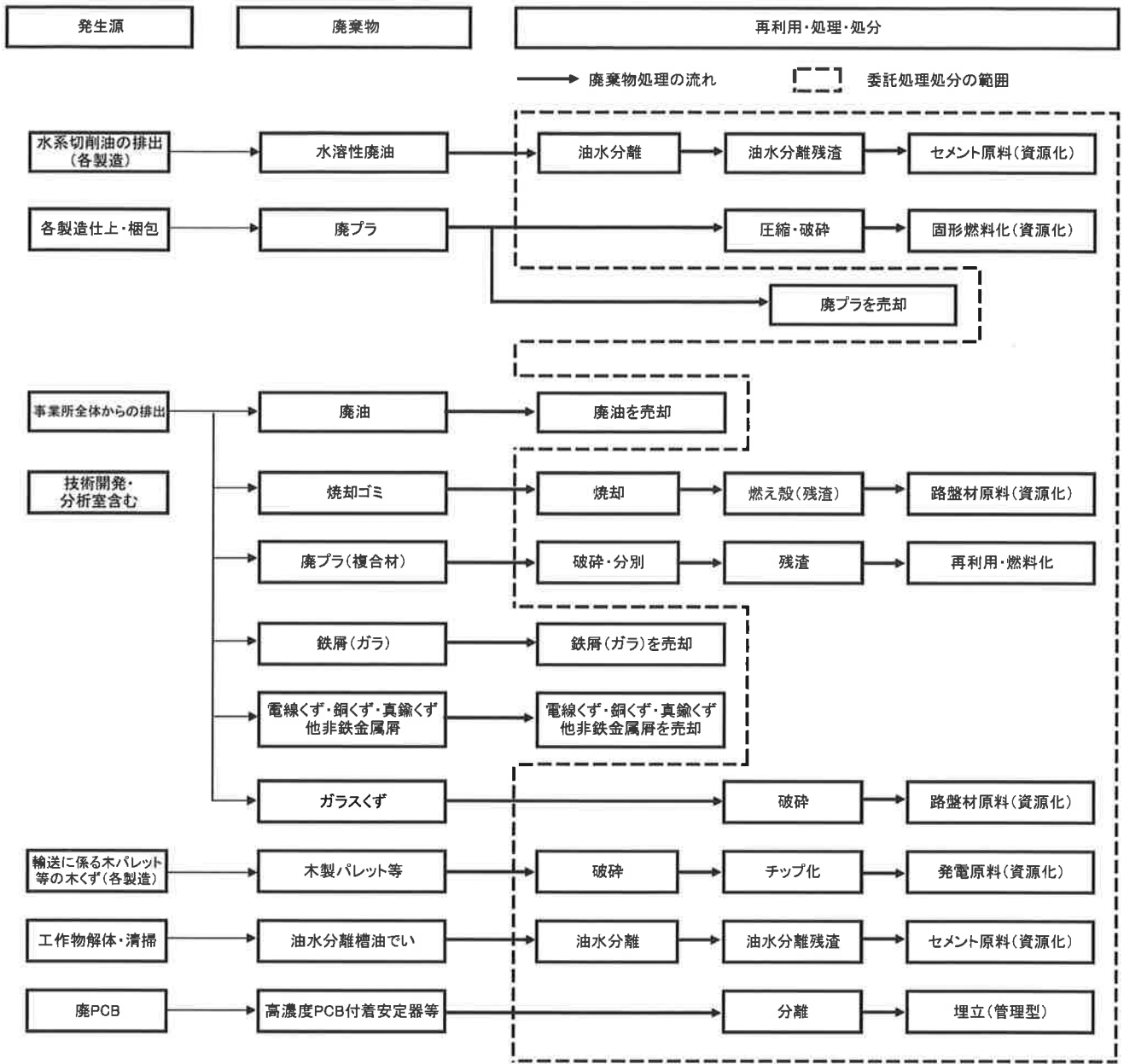
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

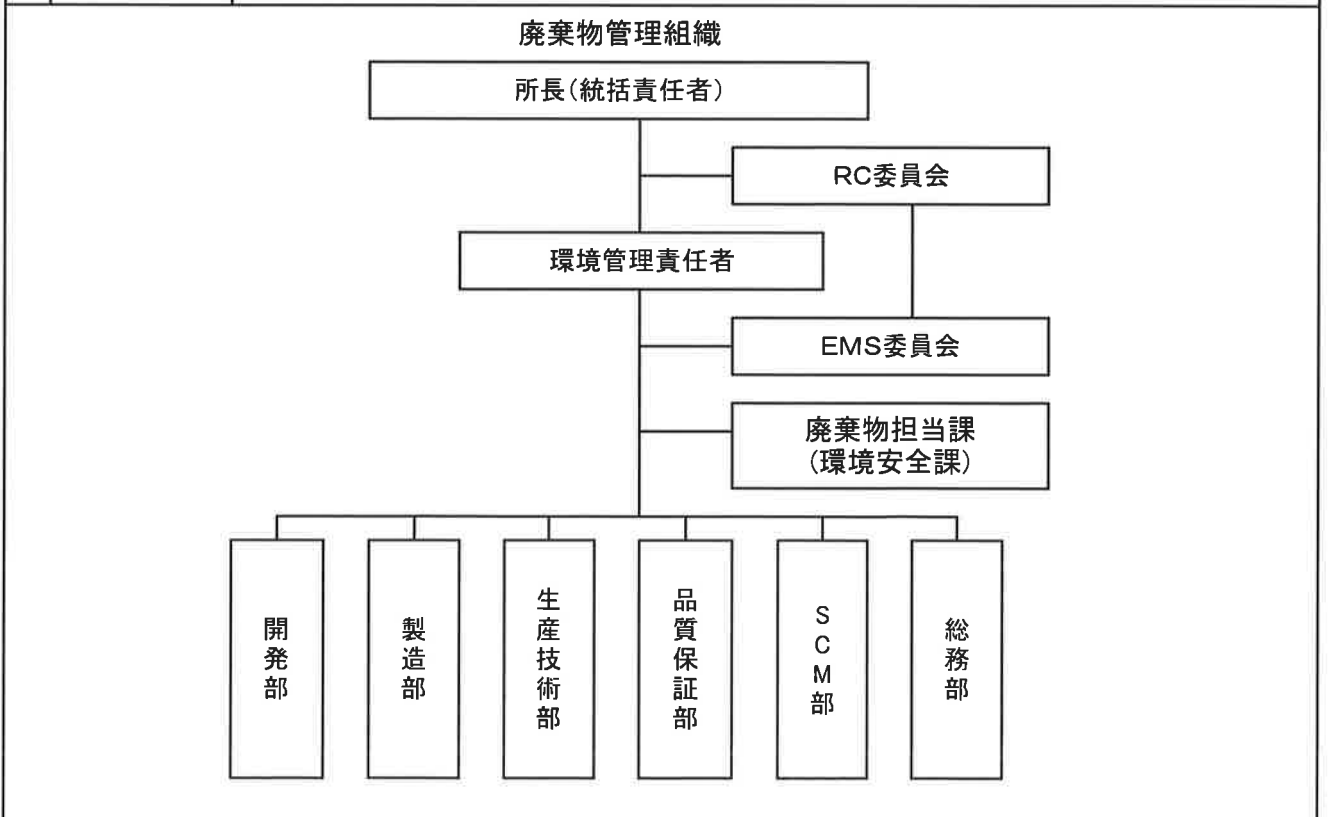




＜産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞

管理体制図

統括責任者		小山事業所長
廃棄物担当課		組織名：総務部環境安全課 組織人数：3名
役割	統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の処理方針の策定 ・ 廃棄物管理に関する管理規定類の最終承認 ・ 廃棄物処理に関する各種事項の承認
	RC委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理に関する事項の決定 廃棄物の削減目標、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討、決定する。 ・ 組織 委員長:所長 委員:各部門長 事務局:環境安全課長
	EMS委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物発生量、削減量、リサイクル量等の実績の把握と報告 ・ 廃棄物削減計画案の立案 ・ 廃棄物に関して発生する問題点についての討議 ・ 組織 委員長:環境安全課長 委員:部署環境責任者 事務局:環境安全課
	廃棄物担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物削減、再資源化に関する情報収集 ・ 廃棄物管理状況の把握と改善案の検討 ・ 廃棄物処理費、量の把握と報告 ・ 収集・運搬、委託契約書の作成 ・ 収集・運搬、委託業者の現地確認 ・ 廃棄物管理に関する管理規定類の立案 ・ 監督官庁への各種報告書作成 ・ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ・ その他関係する事項



<産業廃棄物>

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	木くず		金属くず		ガラスくず、コンクリート くず及び陶磁器くず		鋳さい		がれき類	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	16	15	2	2	29	36	0	0	0	0
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋 投入処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	16	15	2	2	29	36	0	0	0	0
優良認定処理業者へ の処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処 理委託量	16	15	2	2	29	2	0	0	0	0
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0

別紙4

<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>

廃棄物の種類	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	分別を行い有価物対象となる廃プラを売却した。	分別の徹底及び廃プラの売却を継続する。
廃油	有価物として売却した。	廃油の売却を継続する。
金属くず	分別を行い有価物対象となる金属くずを売却した。	分別の徹底及び金属くずの売却を継続する。

<産業廃棄物の分別に関する事項>

廃棄物の種類	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
廃プラ類	焼却対象廃棄物と燃料対象廃棄物の分別を進め焼却対象廃棄物を減らす。	分別の徹底を継続する。
廃プラ類	ビニール、ラップ類の分別を行い、汚れのないビニール、ラップ類は有価物で売却し、廃プラの産廃排出削減を行った。	分別の徹底を継続する。
廃プラ類	配線のコンセントプラグと配線に分別し、配線を有価物として売却した。	分別の徹底を継続する。

<自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項>

廃棄物の種類	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
	---	---

<自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項>

廃棄物の種類	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	無機性汚泥5,780tを脱水し、5,255t減量化した。	無機性汚泥5,700tを脱水し、5,200t減量化する。
	---	---

<自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項>

廃棄物の種類	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
	---	---

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

廃棄物の種類	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
全般	優良認定処理業者への処理委託を継続する。	優良認定処理業者への処理委託比率を上げる。
全般	処理委託先の確認実施	処理委託先の確認継続